

1 課題を抱える業務の内容

- ①料金収入予測業務において、過去の収入増減実績や、今後の人口減少等を考慮した予測を作成している。人口減少などに伴い水需要の減少が見込まれることから、需要予測に基づく効率的な水運用体制を確立する必要がある。
- ②毎月の料金収入の増減理由を分析している。

2 課題の詳細

- ①水需要や料金収入の予測にあたっては、猛暑や寒波等の気象要因のほか、新型コロナウイルス感染症などの特殊要因の影響による増減があり、予測が難しい面がある。また、予測に基づく効率的な水運用体制を確立することで運用コスト低減を図りたい。
- ②毎月、口径別（一般家庭・大口使用者）の収入分析や大口使用者の増減を分析しているが、増減理由を特定する事務量が膨大である。

3 こんな技術を求めています！

- ①人口予測や過去の気象要因、大規模開発、過去の料金収入実績等を入力し、ICTを活用し自動的に今後の水需要や料金収入を予測する技術
- ②口径別の収入状況等を入力し、増減理由を迅速に特定する技術

4 事業規模・業務量

- ①作業頻度：2回／年，作業時間：約20時間／回
- ②作業頻度：1回／月，作業時間：約10時間／回